

新衛生センター建設工事の事業者の選定に係る客観的評価結果の公表

新衛生センター建設工事の受注者が決定したので、その客観的な評価結果をここに公表する。

令和2年3月31日

南濃衛生施設利用事務組合 管理者 養老町長 大橋 孝

1. 工事名

新衛生センター建設工事

2. 工事場所

岐阜県養老郡養老町高田地内

3. 工期

令和2年4月1日から令和6年3月22日

4. 工事概要

有機性廃棄物リサイクル推進施設（汚泥再生処理センター）（以下「本施設」という。）の建設工事

（1）本施設の概要

本施設の概要は、次のとおりである。

		概 要
汚 泥 再 生 処 理 セ ン タ ー	処理方式	・水処理方式は膜分離高負荷脱窒素処理方式又は浄化槽汚泥の混入率の高い脱窒素処理方式とし、処理水は牧田川に放流する。
	処理対象物及施設規模	・し尿 ： 8KL／日 ・浄化槽汚泥 ： 57KL／日（農業集落排水汚泥を含む）
	処理性能	【放流水質】 pH ： 5.8～8.6 BOD ： 20mg／L以下 COD ： 20mg／L以下 SS ： 20mg／L以下 全窒素 ： 10mg／L以下 全リン ： 2mg／L以下 色度 ： 30度以下 大腸菌群数 ： 1,000個／cm ³ 以下 【放流量】 195m ³ ／日以下 【脱水し渣】 含水率60%以下 【脱水汚泥】 含水率70%以下

		【その他】各種規制基準に準拠した処理性能とする。
	資源化方式	・水処理設備から発生する汚泥やし渣の含水率を規定値以下にすることで、助燃剤として焼却施設で可燃ごみと混焼する。
	管理施設	・管理棟は、処理棟との合棟とすることが望ましいが、別棟の場合には渡り廊下により接続する。

(2) 新衛生センター建設工事(以下「本工事」という。)の範囲

本工事の範囲は次のとおりである。詳細については、発注仕様書に示す。

	概 要
施設の建設	本施設の実施設設計及び詳細設計
	計画通知等各種許可申請の手続
	交付金申請手続に関する資料の作成
	施設設置届等に関する資料の作成
	準備工事
	施工及び施工管理
	付帯施設、緑地等の整備
	本施設の試運転
	本施設の性能確認及び引渡し
	当組合が行う近隣対応等への協力
施設の運営	本施設の運転指導
	予備品及び稼働後 3 年間の消耗品等の納入
	引渡し後の各種保証
	工事期間中の仮設処理施設の設置、維持管理及び運転補助
地下残置工作物等の撤去	本施設の工事区域内の地下残置工作物の撤去
	地下残置工作物の撤去に伴う各種許可申請の手続
既存施設の解体	衛生センター敷地内の全ての工作物
	解体工事に伴う各種許可申請の手続
	施工及び施工監理
	当組合が行う近隣対応等への協力
上記項目に付随する業務	

5. 選定方法

事業者の募集及び選定にあたっては、一般競争入札による総合評価落札方式により行う。

(1) 総合評価選考委員会

事業者の審査は、透明性及び公平性を確保し、専門的知見に基づいた審査評価を行うため、学識経験者への意見聴取を行いながら養老町総合評価選考委員会(以下「総合評価選考委員会」という。)において行った。

役 職	所 属
委 員 長	養老町副町長
副 委 員 長	養老町総務部長
委 員	会計管理者
委 員	養老町産業建設部長(水道課長兼務)
委 員	養老町総務部総務課長
委 員	養老町総務部税務課長
委 員	養老町産業建設部農林振興課長
委 員	養老町産業建設部建設課長
委 員	養老町教育委員会教育総務課長
委 員	養老町住民福祉部生活環境課長心得

(2) 学識経験者

総合評価選考委員会が専門的知見に基づいた審査評価を行うため、次の学識経験者への意見聴取を行った。

所 属	氏 名
滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科教授	井 手 慎 司
岐阜薬科大学教授 薬学博士 薬品化学研究室	佐治木 弘尚

(3) 事業者選定までの経過及び選考会の開催経過

期 間 等	内 容
令和元年 9 月 30 日 (月)	第 1 回 総合評価選考委員会 (事業概要、スケジュール)
令和元年 10 月 9 日 (水)、 10 日 (木)	学識経験者へ意見聴取 (事業概要、入札説明書 (案)、落札者決定基準 (案)、発注仕様書 (案))
令和元年 11 月 6 日 (水)	第 2 回 総合評価選考委員会 (入札公告 (案)、入札説明書 (案)、落札者決定 基準 (案)、発注仕様書 (案))
令和元年 11 月 8 日 (金)	入札告示
令和元年 11 月 8 日 (金) ～13 日 (水)	参考資料の閲覧及び工事場所確認の申請受付期間
令和元年 11 月 15 日 (金)、 18 日 (月)	参考資料の閲覧及び工事場所確認
令和元年 11 月 15 日 (金)	質問の受付 (第 1 回) ・ 入札説明書、落札者決定基準
令和元年 11 月 20 日 (水)	質問の回答 (第 1 回) ・ 入札説明書、落札者決定基準
令和元年 11 月 22 日 (金)	入札参加資格審査申請書 (2 者) 受付
令和元年 12 月 2 日 (月)	第 3 回 総合評価選考委員会

	(入札参加資格審査)
令和元年12月6日(金)	質問受付(第2回) ・発注仕様書等
令和元年12月13日(金)	入札参加資格審査結果通知 質問の回答(第2回) ・発注仕様書等
令和2年1月15日(水)	技術提案書の提出
令和2年1月15日(水)～ 24日(金)	形式審査の実施
令和2年2月3日(月)	第4回 総合評価選考委員会 (後期スケジュール、技術提案書審査、ヒアリングの実施方法)
令和2年2月3日(月)、 6日(木)	学識経験者へ意見聴取 (後期スケジュール、技術提案書審査、ヒアリングの実施方法)
令和2年2月14日(金)	技術提案書に対する指摘・確認事項等依頼
令和2年2月25日(火)	技術提案書に対する指摘・確認事項等回答
令和2年3月2日(月)	技術提案書に関するヒアリング
令和2年3月5日(木)、 9日(月)	学識経験者へ意見聴取 (技術提案書の審査)
令和2年3月12日(木)	第5回 総合評価選考委員会 (技術提案書の審査)
令和2年3月13日(金)	入札書提出(開札)
令和2年3月17日(火)	第6回 総合評価選考委員会 (最優秀提案者の選定及び低入札価格調査実施)
令和2年3月23日(月)	第7回 総合評価選考委員会 (低入札調査結果の審査及び審査講評) 落札者の決定
令和2年3月26日(木)	仮契約の締結
令和2年3月30日(月)	議会の議決・本契約の締結

6. 審査方法

(1) 資格審査

資格審査では、入札参加者から提出された参加資格確認申請書類について、参加資格要件を満たしているか確認を行う。

確認の結果、参加資格要件を満たしていない場合には無効とする。

(2) 本審査

ア 技術提案書及び入札書の審査

提出された技術提案書類及び入札書について、以下の視点から確認を行う。

確認の結果、重大な不備・不足がある場合は無効とする。

1) 必要な書類がそろっているか

2) 様式集に従った形式となっているか

イ 審査項目と配点

非価格要素及び価格に関する審査項目及び配点は、次のとおりである。

審査項目			配点
非 価 格 要 素	一 般 要 求 事 項	設備仕様書、設計計算書、図面類と発注仕様の整合性に関する事項	10
		工事施工計画と発注仕様の整合性に関する事項	5
		一般要求事項計	15
	特 定 要 求 事 項	施設計画に関する事項	10
		全体配置計画、車両動線計画	5
		設備・機器配置計画、作業動線計画	5
		施工計画に関する事項	10
		工事期間中の仮設処理計画	5
		車両等動線計画・周辺環境対策	5
		長寿命化・強靱化に関する事項	10
		施設の長寿命化対策（30年程度）	5
		災害発生時の対処方策（台風、浸水等）	5
		運転維持管理に関する事項	15
		維持管理費・点検補修費等低減対策 及び省エネルギー対策	15
		環境保全	5
		周辺環境への配慮（騒音、振動、悪臭）	5
		地域貢献	5
		地域経済への配慮・貢献	5
		特定要求事項計	55
		非価格要素計	70
	価 格	入札価格	30
合計			100

ウ 非価格要素審査

1) 一般要求事項に関する提案内容の確認

一般要求事項に関する技術提案内容について確認を行い、発注仕様書等に対する重大な不整合が確認された場合は無効とする。

なお、重大な不整合の定義は以下のとおりとする。

①発注仕様書を大幅に逸脱した提案を行っている。

②同一事項に対する2通り以上の提案を行うなど、提案書類間に著しい齟齬がある。また、軽微な不整合が確認された場合には、対応法の回答書の提示を求めることがある。

2) 一般要求事項の点数化

一般要求事項に関する技術提案内容について、「6(2)イ 審査項目と配点」に示す審査項目ごとに、下表の評価基準及び点数化方法に基づき点数化を行う。

	評価基準	点数化の方法
A	当該評価項目において、発注仕様書との不整合がなく、かつ提案書類の相違もない。	配点×1.00
B	当該評価項目において、発注仕様書との不整合及び提案書類間の相違がわずかに認められるが、改善が確認できる。	配点×0.75
C	当該評価項目において、発注仕様書との不整合及び提案書類間の相違が認められる（全社平均に対して10%以上20%未満多い）が、改善が確認できる。	配点×0.50
D	当該評価項目において、発注仕様書との不整合及び提案書類間の相違が多い（全社平均に対して20%以上）が、改善が確認できない。	配点×0.25
E	当該評価項目において、発注仕様書との不整合が及び提案書類間の相違が認められ、かつ改善が確認できない。	配点×0

3) 特定要求事項に関する提案内容の確認・点数化

特定要求事項に関する技術提案内容について、「6(2)イ 審査項目と配点」に示す審査項目ごとに、下表の評価基準及び点数化方法に基づき点数化を行う。

	評価基準	点数化の方法
A	当該評価項目において特に優れた提案となっている。	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において優れた提案となっている。	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において発注仕様書を満たす程度の提案である。	配点×0

なお、特定要求事項に関する技術提案内容については、審査項目ごとに次の視点に基づき評価を行う。

審査項目		評価の視点
施設計画に関する事項	全体配置計画、車両、動線計画	・限られた敷地に処理棟等が有効的に配置され、搬入車両、作業車両、来客者、工事車両等が安全で円滑な動線となる提案となっているか。
	設備・機器配置計画、作業動線計画	・本事業の特徴を踏まえた処理システムが採用され、優れた設備・機器の配置計画となっているか。 ・機能性・安全性に配慮した計画となっているか。
施工計画に関する事項	工事期間中の仮設処理計画	・工事期間中においても適正な放流水質、脱水汚泥等が得られるような処理計画となっているか。
	工事期間中の車両等動線計画・周辺環境対策	・工事期間中の搬入車両、作業車両、来客者、工事車両等が安全で円滑な動線となる提案となっているか。 ・工事期間中の周辺環境保全対策（騒音、振動、悪臭）を考慮した提案となっているか。
長寿命化・強靱化に関する事項	施設の長寿命化対策（30年程度）	・施設の長寿命化を実現するための提案がなされているか。
	災害発生時の対処方策（台風、浸水等）	・施設の強靱化（台風、浸水等）を実現するための提案がなされているか。
運転維持管理に関する事項	維持管理費・点検維持補修費等低減対策及び省エネルギー対策	・経済性に優れた施設の運営・維持管理を実現するための維持管理・点検補修計画となっているか。 ・省エネルギー対策（節電、薬剤使用量低減等）を考慮した提案となっているか。
環境保全	周辺環境への配慮（騒音、振動、悪臭）	・騒音・振動・悪臭対策、また助燃剤・残渣搬出時の臭気対策等を考慮した計画となっているか。
地域貢献	地域経済への配慮・貢献	・地元企業の活用や地元企業からの資材調達等を積極的に行う提案となっているか。

4) 非価格要素点の算出

非価格要素点は、下式により算出する。

$$\text{非価格要素点} = \text{一般要求事項の合計点} + \text{特定要求事項の合計点}$$

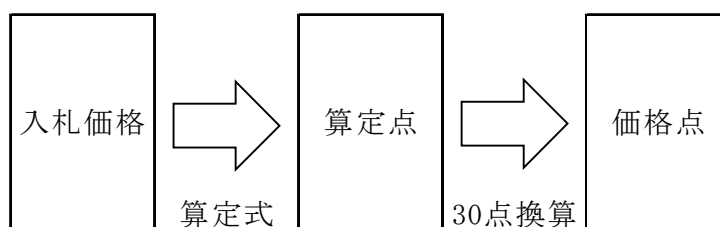
エ 価格審査

入札書に記載された入札価格について、下記の算定式により点数化を行う（算定点）。算定点の内の最高得点を価格点 30 点とし、以降の価格点は算定点の差を反映する。

なお、点数は、小数点以下第 3 位を四捨五入した値とする。

$$\text{算定式} : \text{算定点} = 100 \times (1 - \text{入札価格} \div \text{予定価格}^{\text{※注}})$$

※注 予定価格：消費税及び地方消費税相当額を控除した金額



入札価格の点数化フロー

オ 総合評価値の算定

非価格要素点と価格点の合計によって総合評価値を算出し、総合評価値が最も高い者を落札者とする。

$$\text{総合評価値} = \text{非価格要素点} + \text{価格点}$$

7. 審査結果

(1) 資格審査

令和元年 11 月 8 日に入札公告を行い、入札参加資格審査申請書等を受け付けたところ、次の 2 者から入札参加の申請があった。資格審査にて両者とも資格を有することを確認し、令和元年 12 月 13 日に両者へ入札参加資格審査結果通知書を書面にて通知した。なお、審査の公平性・公正性を確保するため、最優秀提案者を選定するまでは、企業名を匿名として審査を行った。

○入札参加者概要

入札参加者番号	きく	つげ
事業者名	日立造船株式会社 中部支社	三井 E&S 環境エンジニアリング 株式会社

(2) 提案審査

令和2年1月15日に入札参加者から提出された技術提案書等について、総合評価選考委員会において、一般要求事項に関する提案内容の審査を行い両者とも重大な不整合のないことを確認した。また、非価格要素審査については、総合評価選考委員会にて十分な議論を行い学識経験者へ意見聴取の内容を踏まえて審査を行った審査結果は次のとおりであり、各提案者の提案について総合評価選考委員会が評価した事項は別紙1に示すとおりである。

なお、入札価格については、総合評価選考委員会での非価格要素審査の評価点の決定を行った、翌日の令和2年3月13日に開札し、その結果を総合評価選考委員会に報告した。

総合評価選考委員会はこれを受けて、入札価格を得点化したが、最優秀提案者の入札価格が入札調査基準価格を下回っていたため、養老町低入札価格調査制度実施要領第7条の規定により調査を行い、同要領第8条の審査を令和2年3月23日に実施した。

○非価格要素審査

審査項目と配点

		審査項目	配点	きく	つけ
非 価 格 要 素	一 般 要 求 事 項	設備仕様書、設計計算書、図面類と発注仕様の整合性に関する事項	10	7.5	7.5
		工事施工計画と発注仕様の整合性に関する事項	5	5	5
		一般要求事項計	15	12.5	12.5
	特 定 要 求 事 項	施設計画に関する事項	10	7.5	10
		全体配置計画、車輛動線計画	5	5	5
		設備・機器配置計画、作業動線計画	5	2.5	5
		施工計画に関する事項	10	10	7.5
		工事期間中の仮設処理計画	5	5	3.75
		車輛等動線計画・周辺環境対策	5	5	3.75
		長寿命化・強靱化に関する事項	10	6.25	10
		施設の長寿命化対策（30年程度）	5	3.75	5
		災害発生時の対処方策（台風、浸水等）	5	2.5	5
		運転維持管理に関する事項	15	15	11.25
		維持管理費・点検補修費等低減対策及び省エネルギー対策	15	15	11.25
		環境保全	5	5	5
		周辺環境への配慮（騒音、振動、悪臭）	5	5	5
		地域貢献	5	5	3.75
		地域経済への配慮・貢献	5	5	3.75
		特定要求事項計	55	48.75	47.5
		非価格要素計	70	61.25	60.00

○価格点

項目	きく	つけ
入札価格(税抜き：円)	3,350,000,000	3,538,000,000
価格点	30.00点	25.33点

(3) 最優秀提案者の選定

総合評価選考委員会では、非価格要素点と価格点の合計を総合評価値として、総合評価値の最も高い「きく」に対して低入札価格調査を実施し審査した結果、契約の内容に適合した履行がなされると認められると判断し、「きく」を最優秀提案者として選定した。

項目	きく	つけ
非価格要素点 (A)	61.25点	60.00点
価格点 (B)	30.00点	25.33点
総合評価値 (A)+(B)	91.25点	85.33点

(4) 審査講評

別紙2に総合評価選考委員会の審査講評を示す。

8. 落札者の決定

当組合は、総合評価選考委員会による審査結果を踏まえて、令和2年3月26日に「きく」の「日立造船株式会社中部支店」を落札者として決定した。

事業者名	愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目24番30号 日立造船株式会社中部支社
------	--

別紙 1 総合評価選考委員会の評価した事項

	審査項目	配点	きく		つげ	
			評価事項	点数	評価事項	点数
一般要求事項 非価格要素 特定要求事項	設備仕様書、設計計算書、図面類と発注仕様の整合性に関する事項	10	発注仕様書との不整合等がわずかに認められるが、改善が確認できる箇所が4箇所確認された。	7.5	発注仕様書との不整合等がわずかに認められるが、改善が確認できる箇所が4箇所確認された。	7.5
	工事施工計画と発注仕様の整合性に関する事項	5	発注仕様書との不整合等は認められなかった。	5	発注仕様書との不整合等は認められなかった。	5
	一般要求事項計	15		12.5		12.5
	施設計画に関する事項	10		7.5		10
	全体配置計画、車輛動線計画	5	○敷地全体の有効利用を評価した。 ○出口を1箇所としており管理がしやすいことを評価した。 ○車両によって動線を分けることで、動線の交差がない安全な動線計画を評価した。 ○機器等の搬入(出)及び汚泥等の搬出に関するメンテナンスエリアを評価した。	5	○浄化槽張水水槽の位置が適切であることを評価した。 ○駐車スペースが広いことを評価した。 ○処理部と管理部に用途分けすることで、交差をなくした安全な動線計画を評価した。 ○風の影響を考慮した薬品の搬入、機器等の搬入(出)及び汚泥等の搬出に関するメンテナンスエリア（東側）を評価した。	5
	設備・機器配置計画、作業動線計画	5	○長期間安定した性能を維持するセラミック膜の採用を評価した。 ○事務所と中央操作室を近接させた計画を評価した。 ○事務室や中央操作室を広く計画したことを評価した。 ○放流水質が優れていることを評価した。	2.5	○自動制御による効率的で安定した前処理を評価した。 ○来客用に男子トイレ及び女子トイレを計画したことを評価した。 ○各階に階段を2カ所設ける事により不測の事態にも安全に避難が可能なことを高く評価した。 ○各部屋に個別にアクセスでき、周回できる廊下を評価した。 ○トップライトによる採光を評価した。 ○受入室と運転エリアの間の前室による臭気対策を評価した。 ○放流水質が優れていることを評価した。	5
	施工計画に関する事項	10		10		7.5
	工事期間中の仮設処理計画	5	○詳細な設計計算による仮設処理計画を評価した。 ○仮設前凝集分離設備の設置及び臭気対策等について評価した。 ○仮設運転期間中(約2年間)の運転指導とサポート体制を評価した。	5	○実績に基づく前脱水の仮設計画について評価した。 ○仮設運転期間中(約2年間)の技術員の現地常駐を評価した。 ○仮設運転期間中の搬入物や放流水の外部分析を実施することを評価した。 ▲提案書内に企業名が特定できる工事看板写真を掲載したため、減点した。	3.75
	車輛等動線計画・周辺環境対策	5	○仮設運転エリアと工事エリアの区画分けを評価した。 ○高度処理施設を一次解体に含めることで車両巡回スペースを確保したことを評価した。 ○防音シートの採用を評価した。 ○具体的な動線計画を評価した。 ○アスベストの追加調査及び除染作業工程を評価した。	5	○仮設運転エリアと工事エリアの区画分けを評価した。 ○粉じん捕集装置DABWの採用を評価した。 ○仮設脱臭装置及び雨水との濁水処理装置を評価した。 ○現場周辺の清掃活動を評価した。	3.75

	審査項目	配点	きく		つげ	
			評価事項	点数	評価事項	点数
非 価 格 要 素	長寿命化・強靱化に関する事項	10		6.25		10
	施設の長寿命化対策（30年程度）	5	○地下外壁の高い防水性を評価した。 ○長期間安定した性能を維持するセラミック膜の採用を評価した。 ○施設保全計画等を評価した。	3.75	○地下外壁の高い防水性を評価した。 ○水槽の防食材料のグレードアップを評価した。 ○施設整備計画等を評価した。 ○水槽補修を考慮した施設計画を評価した。	5
	災害発生時の対処方策（台風、浸水等）	5	○非常用発電の性能（10秒以内機動、7時間以上の発電）を評価した。 ○緊急時の支援体制（60分以内にサービス部門到着）を評価した。	2.5	○台風対策（シャッター強度）を評価した。 ○施設内部への浸水防止対策（止水板配置）を評価した。 ○排水対策（地下排水ポンプ設置）を評価した。 ○地震対策（耐震クラスks=2.0）を評価した。 ◎停電時にも1週間程度し尿等の受入が可能なことを高く評価した。	5
	運転維持管理に関する事項	15		15		11.25
	維持管理費・点検補修費等低減対策及び省エネルギー対策	15	○自動制御による維持管理費の削減対策を評価した。 ○設備の合理化による点検補修費等低減対策を評価した。 ○省エネルギー対策を評価した。 ○15年間における維持管理費が比較的安価であることを評価した。	15	○自動制御による維持管理費の削減対策を評価した。 ○設備の合理化による点検補修費等低減対策を評価した。 ○省エネルギー対策を評価した。	11.25
	環境保全	5		5		5
	周辺環境への配慮（騒音、振動、悪臭）	5	○受入槽の構造及び設備による臭気対策を評価した。 ○防音ボックスによる騒音対策を評価した。	5	○受入槽の構造及び設備による臭気対策を評価した。 ○低騒音・低振動機器（スクリュープレス）の採用を評価した。	5
	地域貢献	5		5		3.75
	地域経済への配慮・貢献	5	◎地元企業への発注予定額が具体的に示されており、規模が大きい点を高く評価した。 ○エコスラグの利活用、地元祭りへの協賛などを評価した。 ○環境啓発を目的とした環境学習などを評価した。	5	○地元企業への発注予定額が具体的に示されていることを評価した。 ○工事期間中の事務員の地元採用、地元祭りへの協賛などを評価した。 ○ネーミングライツ・パートナー制度の導入、ふるさと納税のPRなどを評価した。	3.75
	特定要求事項計	55		48.75		47.5
	非価格要素計	70		61.25		60.00

別紙２ 審査講評

本工事は、既存の老朽化した衛生センターで仮設により処理を継続しながら、スクラップアンドビルド方式により建設を行う非常に難易度の高い工事である。

そのため、事業者には新施設の性能の向上、長寿命化、維持管理費の低減及び難易度の高いスクラップアンドビルド方式による施工不良の未然防止等により総合的なコストの低減、環境対策及び事業効果を高めることが期待されるため、事業者の選定にあたっては、一般競争入札による総合評価落札方式を採用し、透明性及び公平性を確保しつつ専門的な知見に基づいた審査を実施した。

本工事においては、し尿等の処理及びスクラップアンドビルド方式での施工に精通する２者より応募があり技術提案を受けた。いずれの提案も本工事に対する熱意・工夫を十分に感じさせ、当組合の要求水準を上回る総合的な技術力が注がれた高度な提案であった。

総合評価選考委員会は、落札者決定基準に基づいて厳正かつ公平な審査を行い、日立造船株式会社中部支社を最優秀提案者として選定した。同社は、技術提案において、本工事についてより深い検討を行い、具体的な仮設計画の提案を行ったものと評価した。選定された同社には、提案した内容を実実に履行するとともに、本工事の重要性に鑑み、特に以下の事項への対応と周辺地域との調和に努められることを要望する。

- (１) 提案された内容の具体的な設計及び施工にあたっては、当組合の意向を踏まえた上で実施し、工事期間中の工事車両等の安全管理等に留意するとともに周辺住民の生活環境に十分配慮すること。
- (２) 本工事は、既存施設での処理を継続しながら現有敷地内でスクラップアンドビルド方式により工事を施工するため、既存施設の機能や安全対策等に細心の注意を払うこと。
- (３) 施設引き渡し後も、技術提案書等に記載された品質・性能の十分な確保を図るべく、当組合の求めに応じ、必要な技術上及び運営上のアドバイスを可能な範囲で提供すること。
- (４) 地元企業との協力及び連携等により、本工事を通じて地域経済の活性化を図るべく提案内容を誠実かつ確実に履行すること。
- (５) 災害時における不測の事態においては、誠意をもって協議のうえ協力すること。

最後に、本工事への応募から落札者決定までの各段階で必要となる提案書類の作成及びプレゼンテーション準備等にあたって、多大な労力と費用があったものと推察される。また、本工事への真摯な取り組みと尽力に対して、総合評価選考委員会として敬意を表すとともに深く感謝を申し上げる。